

3 / 13 (木) の発表

【道庁プレスリリース】

報道発表資料の配付日時 3月13日(木) 18時30分

| | | | |
|------------------|--|------|--|
| 発表項目 (行事名) | 「日ロさけ・ます漁業交渉(日本200海里水域)」の結果について | | |
| 記者レクチャー のお知らせ | (実施日時) | 発表者 | |
| | | 発表場所 | |
| 概要 | <p>令和7年3月10日(月)からウェブ会議で開催されていた、「日ロ漁業合同委員会第41回会議」が本日妥結しましたので、別添(下記2枚)のとおりお知らせします。</p> <p>① プレスリリース(「日ロさけ・ます交渉(日本水域)」の結果について) ② 水産林務部長コメント</p> | | |
| 参考 | | | |

| | | | |
|-------------------------|--------------|------|------------|
| 報道(取材) に当たって のお願い | | | |
| 他のクラブ との関係 | 同時配付 同時レク | (場所) | 北海道水産記者クラブ |

| | | | |
|-------------|--|--|--|
| 担当 (連絡先) | 水産林務部水産局漁業管理課国際漁業係(担当者:物見) TEL 直通 011-204-5487 内線 28-406 | | |
|-------------|--|--|--|

令和7年3月13日
北海道水産林務部

「日ロさけ・ます漁業交渉（日本200海里水域）」の結果について

令和7年3月10日（月）から、ウェブ会議で開催されていた、日本200海里水域における我が国漁船によるロシア系さけ・ますの操業条件等を定める「日ロ漁業合同委員会第41回会議」は、本日妥結しました。

概要は以下のとおりです。

1 開催月日：令和7年3月10日（月）～3月13日（木）[ウェブ会議]

2 出席者

- (1) 日本側：高橋 広道（たかはし ひろみち）水産庁増殖推進部長（日本政府代表）ほか、
外務省、水産庁、北海道庁及び漁業団体の関係者
- (2) ロシア側：ヤコブレフ A. V. 連邦漁業庁副長官（ロシア連邦代表）ほか、
外務省、連邦漁業庁等の関係者

3 結果概要

- (1) 漁獲量：カラフトマス、ベニザケ、ギンザケ、マスノスケ 計1,550トン（※）（前年同）
シロザケ 500トン（前年同）
合計 2,050トン（前年同）
（※ベニザケ、ギンザケ、マスノスケについては、3種合わせて1隻当たり1トン以内とする）
- (2) 機材供与：1億8,000万円～3億13万円の範囲で漁獲実績に応じて決定することで一致。
（前年同）

連絡先：北海道水産林務部水産局漁業管理課
国際漁業係
代表：011-231-4111（内線28-406）
直通：011-204-5487

日口さけ・ます漁業交渉 妥結に関する水産林務部長コメント

日本200海里水域内における我が国さけ・ます漁船の操業条件等を協議するため、3月10日からウェブ会議で開催されていた「日口漁業合同委員会第41回会議」が、3月13日に妥結しました。

本道漁業者による日本水域でのさけ・ます流し網漁業は、長い歴史を有し、水揚げされる「時鮭(トキシラズ)」は、脂のりと身の柔らかさから珍重され、春の風物詩として皆様に親しまれているほか、流通や加工、漁業資材などの関連産業が多く、道東地域の経済に大きく貢献してきましたが、近年は、不安定な漁場形成から水揚げ不振が続いており、着業する方々も年々減少するなど、大変厳しい状況にあることから、道では、本漁業が今後も継続できるよう、関係団体の方々とともに漁業者の皆様が望む操業条件となるよう国に要望してきました。

漁業者の皆様の強い思いを受け止めていただいていた今交渉では、昨年引き下げられた漁業協力費の下限額が維持されるとともに、交渉が早期に妥結されたことにより、例年どおり4月からの出漁が可能となるなど、政府代表をはじめ、関係者皆様の特段のご尽力に対し、深く感謝を申し上げます。

道としましては、出漁を予定している漁業者の皆様を対象として、法令の遵守を徹底する操業指導会議を開催するとともに、漁業取締船を配備するなど、適正に操業が行われるよう取り組んで参ります。

令和7年3月13日

北海道水産林務部長 岡嶋 秀典